



議会だより

北栄



「エイッ! エイッ!!」 新春に鍛える

1月10日 国坂神社境内

県立 美術館 **誘致を決議**

2

商工会と意見交換

3

町政 **ここを問う**

4



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索





9月29日 商工会館にて

問 事業費約1億円の建物で3分の2は国、残り町で支援してほしい。商工会は手持ちの基金1千8百万円をもって進めたい。利益より、コナン観光客の満足度を高めたい。

答 町長が意思表示するだけでなく、町民みんなが本気になることが大事。

問 商工会では、1万人署名を出した。中部で10力所の候補地があげられ、今、鳥取市対中部の構図だ。町長はリーダーシップを発揮してほしい。

答 町長が意思表示するだけでなく、町民みんなが本気になることが大事。

問 町内業者で受注できるものは、地元発注を。

答 町内業者は保護する必要はある。町長に申し入れる。

問 若者を対象とした会社説明会や工場見学等を、行政と連携して実施できるような対策を。

答 オープンキャンパスのような見学会を開催し、企業をPRすることは必要である。

北栄町商工会との一般会議 議会だより第38号（平成27年11月）の詳細

①免許試験場跡地への集合店舗並びに運営に係る支援策

②県立美術館、ミュージアム誘致

③「商工観光課」の新設

④北栄町の発注する公共工事

⑤事業所の雇用の確保と地元定着

高校生の声に まちづくりに



質問席での高校生議員

1月13日に高校生議会を議場で行いました。これは昨年度から地元の鳥取中央育英高校（横山尚登校長、生徒数412人）の「地域探究の時間」の一環として始まったものです。今回は昨年を上回る22問の一般質問が1,2年生によって行われ、町の執行部と緊張した雰囲気の中で真剣な議論が交わされました。詳しくは次の議会だより40号（5月1日発行）に掲載する予定です。



議会議員と交流

12月 定例議会

鳥取県立美術館 町内誘致を決議



免許試験場跡地

12月定例会を12月8日から18日まで開きました。町長提案の条例や補正予算など10議案と人権擁護委員1名の推薦に係る諮問案は、すべて全会一致で可決しました。

また、県立美術館を本町の免許試験場跡地に建設することを求める決議案と、「県立美術館誘致調査特別委員会」並びに「議員定数・報酬等調査特別委員会」の設置を求める2議案が議員発議で提案され、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算は、増額補正となり、予算の総額は2億720万円を追加し87億226万円となりました。主なものは、ふるさと北栄基金寄附金を2億3000万円と見込み、そのための謝礼等の経費3305万円と基金積立金6500万円、土地下地内にある旧三陽合織(株)を町有化するための公有財産購入費4600万円、国民健康保険特別会計への繰出金1億814万円、町商工会が出会いの広場に集合店舗を開設するための調査設計への補助金等225万円などです。



三陽合織(株)跡地

条例	番号法に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定
番号法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	
厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	
北栄町産業振興奨励条例の一部を改正する条例の制定	
補正予算	
一般会計補正予算（第7号）	（増額1億5953万円）
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	（増額1億6177万円）
風力発電特別会計補正予算（第1号）	（増額4141万円）
大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第2号）	（増額86万円）
後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	（増額18万円）
一般会計補正予算（第8号）	（増額4767万円）
諮問	
人権擁護委員の候補者推薦に係る意見を求める （竹原光余氏（土下））	

発議第2号 議員定数・報酬等に関する調査特別委員会の設置

町政に広く町民の声を届けるため、議会のあり方について議員定数・報酬等を核として、総合的に調査研究する必要がある。

※委員の定数：議員全員 委員長：浜本武代 副委員長：宮本幸美

発議第3号 鳥取県立美術館の建設を求める決議

候補地は、JR由良駅（愛称：コナン駅）や国道9号から近く、多様で新たな交流が可能である。洋画家・前田寛治や名探偵コナンの作者・青山剛昌氏ほかの出身地であり、文化、芸術のまちとして、町民の県立美術館への熱い思いは最高潮に達している。よって本地に県立美術館を建設することを求める。

発議第4号 鳥取県立美術館誘致に関する調査特別委員会の設置

県立美術館は本町の発展に大きく影響のある案件であり、本町の免許試験場跡地がいかにかに県立美術館に適しているか調査研究し、内外に広くアピールしていくべきである。

※委員の定数：議員全員 委員長：阪本和俊 副委員長：町田貴子

請願・陳情の審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 田中修一	採決 全会一致	沖縄県民の民意に配慮し、国民的議論を促すため。 →政府及び国会に意見書を提出
教育環境・施設・設備の充実に関する陳情	町立北条小学校PTA会長 津島 望	採決 全会一致	教育環境の充実、通学路の安全確保は必要である。 →町長・教育委員長へ送付
大栄小学校学習環境及び通学路の危険箇所等の改善について（要望）	町立大栄小学校PTA会長 坂田展久	採決 全会一致	教育環境の充実が必要である。校舎老朽化対応については、長期計画を立て総合的に検討すること。→同上
教育環境・施設・設備の充実に関する陳情	町立北条中学校PTA会長 松本徹哉 町立大栄中学校PTA会長 福光博久	採決 全会一致	教育環境の充実、通学路の安全確保は必要である。 →同上

DMOの整備

ふるさと館を中心に

町長 ブランド化し発信



斉尾 智弘

斉尾

「とつとり梨の花温泉郷広域観光協議会」を核とする、中部圏域版DMOの整備が進んでいる。青山剛昌ふるさと館を中心とした、中部の一大観光エリアを推進すべき。

※DMO＝広域の観光地域づくりのため、観光戦略の策定や関係者の合意形成を担う組織。



外国人にも人気のふるさと館

町長

鳥取中部ふるさと広域連合が連携して「梨の花温泉郷」を日本版DMOに発展、整備する。

観光情報発信の一元化、旅行業資格の取得に伴う観光商品の企画販売、外国人観光客への対応に取り組む。

青山剛昌ふるさと館をはじめ、中部圏域の国内外に誇れる素材を活用し、ブランド化し発信していく。



阪本 和俊

阪本

イチゴの通年栽培計画がある。夏イチゴは全国的に成功事例がない。農家はもとより園芸試験場、普及所等は、成功は難しいと断言している。

補助金があるからといって安易な取り組みは無謀。試験であれば鳥取大学や園芸試験場に依頼すべき。失敗はつき物だが、誰が責任

町長

総合戦略の基本目標に「イチゴの通年出荷の取り組み」を盛り込んだ。平成28年1月に町とJAを中心とした農業法人の設立準備会を計画している。一定の環境制御された園芸施設でこれを「イ

を負うのか。今までのように農家の自己責任と切り切るのか。

創生事業でイチゴ栽培 安易な取り組み 町長 モデル的に実証

「イチゴ工場」という。

当然、農家所得が向上することが前提である。まずは、新たな取り組みで、モデル的に実証して行きたいと考える。

農産物のイメージアップを図り、何が必要で何が不要でないかは、経営者がそれぞれ判断いただき、責任を負っていただくことになる。



町政

ここを問う

質問分野	質問事項	質問者	ページ
地方創生	新規就農者	森本真理子	4
	日本版DMOの整備	斉尾 智弘	5
	北条町版地方創生事業の取り組み	阪本 和俊	
政治・政策	公共施設等の総合管理計画	飯田 正征	6
	公共施設の取り扱い	田中 精一	
	北条庁舎の窓口業務委託と事業棚卸	池田 捷昭	7
	今後の町政	池田 捷昭	
	乾杯条例の制定	斉尾 智弘	8
	協働のまちづくり	浜本 武代	
美術館誘致	県立美術館誘致	町田 貴子	9
	コナンのまちづくり	津川 俊仁	
ふるさと納税	納税全国トップクラスを参考に	飯田 正征	10
	農業の振興	森本真理子	
農業・産業	プレミアム商品券 ーその使用期限を終えてー	油本 朋也	11
	砂丘地農業の未来	宮本 幸美	
	TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の対策	斉尾 智弘	12
	TPPの大筋合意と町の対策	阪本 和俊	
生活・環境	安心安全なまちづくり	飯田 正征	13
	北条道路の盛土管理	宮本 幸美	
健康・教育	健康のまちづくり	町田 貴子	14
	北条町民グラウンドの照明	池田 捷昭	
福祉	引きこもりの社会復帰支援	斉尾 智弘	15
	介護保険制度改悪への対応	長谷川昭二	

新規就農者

確保、育成の重要策は

町長 職員のレベルアップ

森本

北条版総合戦略のなかで、「農業の振興」が重点項目のひとつにあげられた。年間10人の新規就農者を確保、育成するための重要策は。また、産業振興課の職員がレベルアップを図るための研修や意識改革は。

町長

職員や就業農相談員を配置したことで本年は、すでに4人が新規就農と2人が親元就農、企業の農業参入では2社が農業を開始した。

今後は、農家や住民と現場で話し合い、合意形成を行って事業を推進できる職員を育成する。職員の意識改革はできるだけ現場に出て声を拾うよう指示している。



森本 真理子



新規就農者のハウス



飯田 正征

公共施設等の総合管理計画 早期に策定を

町長 平成29年3月完成予定

飯田 「平成27年度中に作成する」と昨年の議会で答弁された「公共施設の統廃合と施設台帳の整理」について進行状況を伺う。
統廃合での地方債の発行条件として、施設の状態や将来の方針をまとめた「公共施設等総合管理計画」を早期に策定し、町民に公表・理解を求めているのか。

町長 今年度は総合管理計画の基礎資料となる固定資産台帳の整備と、各施設の利用状況、維持管理費、及び全体的な更新に要する経費の見込みなどを明らかにする公共施設白書の作成に取り組み、今年度中に完了予定。
総合管理計画の策定は、平成29年3月完成予定です。



全面改修中の大栄体育館

町政いごを問う

公共施設の取り扱い

どうなる各施設

町長 小中一貫教育の検討

田中 平成26年度から3カ年をかけて公共施設等総合管理計画の策定を、外部団体に業務委託している。以下について、現時点での町長の意向は。
①町内2校ずつある小学校と中学校の統廃合の検討が必要か。
②町内4力所の町立認定こども園の統廃合の

検討が必要か。
③築44年を経過した中央公民館大栄分館の改築または全面改修を実施、維持継続はあるか。
④青山剛昌ふるさと館は、展示内容の大幅リニューアルの時期ではないか。



田中 精一



老朽化が著しい大栄分館

町長 ①今後10年間は必要ないが、小中一貫教育の検討は必要だろう。
②今後5年間の園児数の推移を見ながら検討。
③今回の総合管理計画の中で方針を示したい。
④毎年、来場者の反応を参考にしている。全面リニューアルは考えていない。

窓口業務委託と事業棚卸

検証と今後

町長 大栄庁舎でも委託を検討



池田 捷昭

池田 北条庁舎の窓口業務の民間委託が実施され2カ月が過ぎた。検証と今後それをどう生かすか。
事業棚卸を終えて、特に観光振興事業と地域改善対策負担軽減事業をどうするか。



北条庁舎の総合窓口

町長 副町長と窓口業務の職員「一分庁総合窓口民営化推進協議会」で、11月16日に1カ月検証を行った。今後も継続される検証の結果を踏まえ、大栄庁舎の窓口業務や他の業務でも、民間委託を検討する。
観光協会は自分たちで稼ぐことも大切。DMOと連携も不可欠。不公平と指摘のある債務負担行為は、棚卸の意味を考えて今後検討する。

集落の今後

どう維持するか

町長 総合戦略で活性化

農委長 本気で議論を

池田 今後集落では、空き家・高齢化問題などで総事も困難になり、耕作放棄地の増大も予測される。どう集落を維持していくのか。
ふるさと館入場者の分析は、6次産業を含めた砂丘地の観光資源の掘り起こしと、観光協会の役割は。本町の特色ある地域づくりは。

ふるさと館入場者は11月末で前年比36%増。ミステリーツアーの効果が大い。また観光協会と連携しコナン以外の新たな観光ルートづくりに取り組みたい。町も特色・差別化の時代である。そんなまちづくりをしていきたい。

農業委員会会長

最近では生産コストの上昇や販売価格の停滞、高齢化による生産者、栽培面積、販売金額の減少のため耕作放棄地が増加している。
作りやすさ、省力化、低コスト化など生産技術



増える耕作放棄地

町政いごを問う



齊尾 智弘

乾杯条例

地域おこしの起爆剤

町長 本町にふさわしいものか



地酒で乾杯

齊尾

乾杯条例は、地酒類の利用促進を図ることが目的である。さらに、地元食材、産業に目を向け、新たな地域おこしのきっかけづくりになるものであり、町の活性化に寄与するのではないかと。

町長

これは蔵元とワイン醸造所の取り組みをよく理解し後押しができるように配慮する必要がある。加えて地域おこしの起爆剤にするのであれば、町民の理解がなければならぬ。先の議会でも「本町になじまない」「準備不足などの理由で否決となった。条例が本町にふさわしいものか検討する必要がある。」

協働のまちづくり

イベントの実施方法

町長 集約はむずかしい

浜本

毎年、多くのイベントが定期的に実施されている。この実施方法を検証し、「人づくり」「農業」「健康・福祉・介護」のくくりで講演会やフォーラムを実施しては。「第3回健康なまち町民大会」を介護も含め平成28年に実施し、健康で最後まで地域で幸せに暮らせる北栄町に。

町長

講演会やフォーラムが協力して糖尿病の予防の講演会を開催した。「健康なまち町民大会」も、町民と健康推進課と福祉課が協力し、企画段階から取り組んでいきたい。開催の間隔をあげ、予算措置を充実することにより、有名な講師を招くことは有効だと思つ。



浜本 武代



平成25年開催の健康なまち町民大会

コナンのまちづくり

テーマパーク構想

町長 積極的に美術館を誘致

津川

コナンのまちづくりを推進するために、今ある青山剛昌ふるさと館を中心に新たな枠組みによるテーマパークの構想を、県立美術館とマンガミュージアムを入れ込んで、まずは担当課で検討し提案してはどうか。

町長

免許試験場跡地に県立美術館が建設されれば、新たな集客を獲得する可能性が見込めるので、積極的に誘致活動を進めたい。町商工会が、同地に集合店舗を整備する計画が始動し、懸案であったコナン通りで飲食・物販店の出店に拍車がかかり、通り周辺の活性化に期待がふくらむ。町として実現に向けて、可能な限り支援したい。

免許試験場跡地

今こそ誘致運動を

町長 町民一体でアピール



町田 貴子



候補の町有地

町田

県では美術館整備基本構想検討委員会が設置され立地条件、候補地照会、集約が予定されている。本町は前田寛治などの有名な芸術家、文化人を輩出し、由良台場や白砂青松の美しい自然がある。交通の利便性もあり美術館の立地に最適である。町の魅力や特徴をアピールし、今こそ誘致運動を起こすべきだ。

町長

県は全市町村に、候補地の照会を行う予定。本町は前田寛治などの有名な芸術家、文化人の作品を所有し、展示などで連携協力が可能である。候補地は、青山剛昌ふるさと館との相乗効果、また景観も交通アクセスも良く、どこからも利用しやすいことなどをアピールする。土地を無償提供することも提案する。



津川 俊仁



「候補地は1つ」工藤新一

町政インタビュー

町政インタビュー



飯田 正征

トップクラスを参考 お礼の品をふやしては

町長 ポイント制の導入

飯田 ふるさと納税者をさらに増やす新たな対策を考えているか。民泊プラン・寄付者を招待したイベント・墓掃除等、全国のふるさと納税額トップクラスの市町村の取り組みを参考に、お礼の品を増やし、寄付額3億円を目標にしている。



3万円以上の寄付で1番人気

町長 ポイント制の導入を考えている。ポイントの積み立てや次年度以降への繰り越しを可能にする。ことで、寄付者が特産品を選び、同時にポイントで結びつけ、北栄町のサポーターとして協力を期待する。併せて、墓掃除サービス、北栄町にお越しただく旅行プランや特定の事業に対して募集する取り組みなど魅力的な企画、品物を出し続け、寄付の増加を図っていく。

町政インタビュー

プレミアム商品券の検証と今後 不透明な販売の調査結果は

町長 そのような事実はない



油本 朋也

油本 6月議会で、質問の質問に、不透明な販売方法の調査は実施されたのか。アンケート調査などがある、上限額を低くし多くの人が購入できるようにとの多数の声にどう答えるのか。生活支援を捨て消費拡大に向かった今回の策は、広く地域振興になったと判断できるか。今後の販売計画は。



町長 商工会へ聞き取り調査の結果、不透明な販売の事実はない。利用された割合は車・建設関係が6割を超え、追加して支払った額の約9割が車・建設関係であることから大型商品への消費拡大はあったと判断する。今は商品券の販売予定はないが、アンケート結果の販売方法や販売限度額についての意見を今後の事業の参考にしたい。

農業の振興

後継者の育成に

町長 条例を改正

森本 大栄西瓜 砂丘ぶどうをもっと前面に出して寄付を募り、若い後継者たちの育成に充てようか。

町長 ふるさと納税の申し込みに際しては、4つの事業の中から寄付の使い道を選んでもらい、次年度に行うそれぞれの事業に充てる。農業の振興についても一つの項目として掲げることとし、ふるさと北栄寄附条例の改正を考えている。



森本 真理子



がんばる後継者

水が命

散水時間の延長

町長 生産部と改良区で検討を

宮本 ①砂丘地 農業は水が命である。今年は大変な猛暑が続く「もつと水がほしい」「秋冬野菜も作れない」という声を耳にした。散水時間の延長、改善はできないか。②生産部有志によるワイン用ぶどうの試験圃場の方向性は。

町長 ①大栄地区はタムの灌漑により、スイカを中心にハウス栽培で周年栽培が可能。北条地区も様々な作物が栽培されているが、両地区とも高齢化と担い手不足が深刻である。散水時間の改善も必要。②高品質のワイン用ぶどうの栽培を目指している。3年目になり、ぶどう棚の設置を検討したい。



宮本 幸美



砂丘畑での白ネギ栽培

町政インタビュー

安心安全なまちづくり

見せる防犯対策を

町長 自治会ごとのパトロール



飯田 正征

飯田

空き巣防止、小中学生、お年寄りの安全を守ることを目的に、自治会ごとに防犯パトロール隊を組織することが重要である。防犯タスキやジャンパーを支給する等、町を挙げて「見せる防犯対策」が有効である。



登校を見守るあいさつ運動（国坂浜）

町長

町としても防犯タスキやジャンパー、会員募集広報活動といった支援を行っている。複数の自治会で取り組まれている登下校時の児童の見守り活動やあいさつ運動に、窃盗犯罪予防を加え、自治会単位でのパトロール実施を奨励していく。

TPP

農業を守れ

町長 平成28年度予算で対応



斉尾 智弘

斉尾

10月にTPPが大筋合意した。農業を基幹産業とする本町農業への影響と町独自の対策は。

町長

牛肉・乳製品は農家への影響が見込まれる。コメは価格低下が懸念される。スイカは今のところ



影響が懸念されるぶどう

影響はないと考えているが、長期的にみると心配される。らっきょうや白ネギは影響はない。ブロッコリーは大きな影響はないと考えているが、懸念はある。ぶどうは安心できない。農業振興基本計画の具休化案を、平成28年度予算で対応する。



宮本 幸美

宮本

国道9号沿い北側の高規格道路整備地区からの残土が搬入されている。現在の盛土となっている。長い年月が経過しているが、今も盛土部分は荒れ放題である。わが町は風車とコナシに会える町、さらに環境の町として全国に発信中で、賑わいの町

町長

盛土は、国交省羽合国道維持出張所が管理。見通しの悪い箇所について

北条道路盛土 今も荒れ放題 危険箇所は除草

となっている。側面整備を関係省庁へ要望されたい。

は年一回除草している。側面箇所については意見、要望に対し個別に対応されている。管理者として、一定の基準により維持管理を行っており、その基準の中での対応となる。



盛土部分は、雑木、雑草で荒れ放題

TPP、町の対策 情報を早く農業者へ

町長 まずJAと対話を

阪本

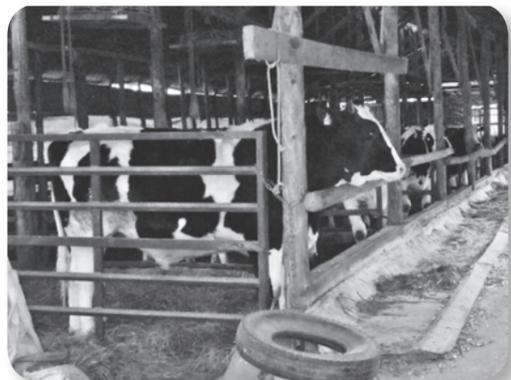
TPP合意内容を説明し、農業者の理解を得ることが肝要。何のアクションも起こさないと農業者を裏切ることになる。一日でも早く情報をキャッチして、対応策を農業者に示すべき。不安や懸念の払拭のために、説明会や研修会を計画してはどうか。

町長

TPPを逆手にとって担当課に指示した。町やJA、県の考え方が違わないよう、今まで以上に連携や課題共有を図りながら進める。JAでは今年度の地域座談会で、説明を予定されている。当初予算で、その具体化案を実行に移すよう、



阪本 和俊



畜産も影響が……



かわいい 双子ちゃん

徳山 ^{てん}天^くん・^{いろ}色^くん
(左) (右) (7歳・西園)

今年から兄の影響で二人ともくろぼくガッツドッジボールチームに入っています。二人とも走るのが大好きです。大栄小学校のマラソン大会で1位と2位になりました。ドッジボール大会で全国制覇し、MVPをとるのが夢です。目標に向かって、元気に育ってほしいと思います。



???? 知っとななる? こんな北栄 ????

国坂神社 (国坂浜)



祭神は少彦名神。平安時代初期の法典「延喜式神名帳」に記されている。神社は「式内社」といわれ由緒ある古社として知られる。伯耆国には式内社が六社あり、四番目に記載されている所から、「四の宮さん」と言われてきた。隣接地に「御手洗池」があった。疫病が流行した時は、神社に祈って池の水草を煎じて飲めば霊験があると言われていた。現在その池は北条野球場となっている。

旧由良町農業協同組合事務所 (由良宿二区)



旧由良町にあった由良町農業協同組合の事務所が、今も倉庫として現存してしている。塩谷旅館前の山田陶器店倉庫兼車庫がそれである。前身の「由良町農業会」の倉庫を経て昭和26年5月に事務所として認可され運営していたもの。昨今では真夏の「名探偵コナンと巡る由良宿街歩きラリー」のゴール地点や、年末の「由良まちYUMEナリエ」のイベント会場として親しまれている。

第9回 臨時議会

顔ぶれが変わりました。

各常任委員会委員の任期満了に伴い、次のとおり決定しました。任期は平成27年11月5日～平成29年10月22日です。

議会運営委員会			
長	美夫	幸昭	本下
副	理子	真智	本尾
	弘一	精武	中本
	山森	森本	山本
	斉田	本本	本
	浜	池	油

総務常任委員会			
長	夫一	昭精	山中
副	治征	栄正	田田
	仁	俊	川
	山田	飯津	前
	前	津	飯
	飯	津	津

産業建設常任委員会			
長	森宮	本本	真理
副	浜池	本本	幸武
	油	本本	捷朋
		本本	昭也
		本本	昭也
		本本	昭也

教育民生常任委員会			
長	斉町	尾田	智弘
副	阪井	本川	貴和
		長谷	昭信
		川上	信一
		井	郎

鳥取中部ふるさと広域連合議会議員 (2名)			
	井上	信一	郎
	宮本	幸	美

発行責任者		編集	
議長	井上信一郎	委員長	田中精一
副議長	山下昭夫	副委員長	油本朋也
	森本真理子		山本幸美
	宮本幸美		山本幸美
	齊尾智弘		山本幸美

町議会議員に初当選して、はや2年が過ぎた。その間の私の議員活動が、町民・支援者の皆様にごう評価されているのか、大変気がかりである。しかし今となっては、既に過去のこととなってしまった。残された2年、初心に帰って皆様の負託に応えたいと誓うばかりである。

この度、議会の各委員会委員の改選があり、広報広聴常任委員会の委員長に推挙された。より多くの皆様が町政、町議会に関心を持っていただけるよう、広報・広聴活動に努める覚悟である。どうぞよろしく。

田中 精一

編集後記